

平成 30 年度 白ゆり幼稚園自己評価結果公表シート

令和元年5月20日

白 ゆ り 幼 稚 園

1. 本園の教育目標

「生活を見つめ創造させる中で仲間とともにせいっぱい生きる子ども」の育成

2. 今年度、重点的に取り組む目標

・平成 30 年度年間目標

「誰にでも元気よく進んで挨拶ができる子ども」の育成

「最後まで目を見て話しを聞く子ども」の育成

「自分の思いをはっきりと相手に伝えられる子ども」の育成

・年次目標

満3歳児：園生活を楽しみ、基本的生活習慣を身に付ける。

3歳児：基本的生活習慣を身に着け、友達と活動する中で園生活のルールを知る。

4歳児：思いやりの気持ちを持ち、話をよく聞いて様々な活動にきりじめをつけて取り組む。

5歳児：年長児としての自覚や思いやりを持ち、きりじめをつけて様々な活動に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

平成 30 年度 年間目標	・視覚教材を提示することで、自ら挨拶ができるようになってきた。話を聞く姿勢が徹底できず、集中も途切れてしまう。最後まで姿勢を保持し、聞く力を今後も育てたい。相手のことを思いやる姿が育ってきたが、室内は静かに過ごすなどのルールを守れない姿が目立つ。	C
------------------	---	---

年次目標 満3歳児	・入園当初不安や寂しさから涙が出てしまう園児もいたが、次第に園生活にも慣れ、大体の園児が基本的生活習慣が身に付いた。オムツが外れなかった園児や好き嫌いの多い園児もいたので次年度へ繋げていく。	C
3歳児	・園生活に慣れ、園でのルールも次第に守れるようになってきた。友達との関りも増え、一緒に遊ぶ姿が見られるようになった一方で、「今日は一緒に遊ばない。」という声も出始め、その都度教師が友達との関り方について話をしている。	

4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動に興味を持って意欲的に取り組む姿が見られるようになった。また相手の気持ちを考えて関わったり声を掛ける姿も増えた。話をよく聞いておらず、活動の途中で違うことをしてしまう姿も見られるため、引き続き援助が必要。 様々な活動を通して、次第に年長であるという自覚を持った行動ができるようになった。自分の意見や思いも言葉にして伝えられるようになったり、相手の意見も受け入れる姿も見られるようになり、園児同士で問題を解決しようとする姿があった。 	B
5歳児		

評価基準（A：十分達成 B：概ね達成 C：普通 D：やや不十分 E：不十分）

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み
ゆりぐみ廊下の補修	<ul style="list-style-type: none"> 早急に修理を依頼する。
保育補助員の増員を検討	<ul style="list-style-type: none"> 保育補助員の増員を検討し、新規採用を図る。
福山市私立幼稚園合同絵画展の参加	<ul style="list-style-type: none"> 福山市私立幼稚園協会主催の合同絵画展に参加し、表現力の向上を目指す。

5. 財務運営の状況

監事監査並びに公認会計士による監査を受けており、当園の財務は適正であり、園運営においても適正に運営されていることが認められた。（詳しくは情報公開資料を参照）